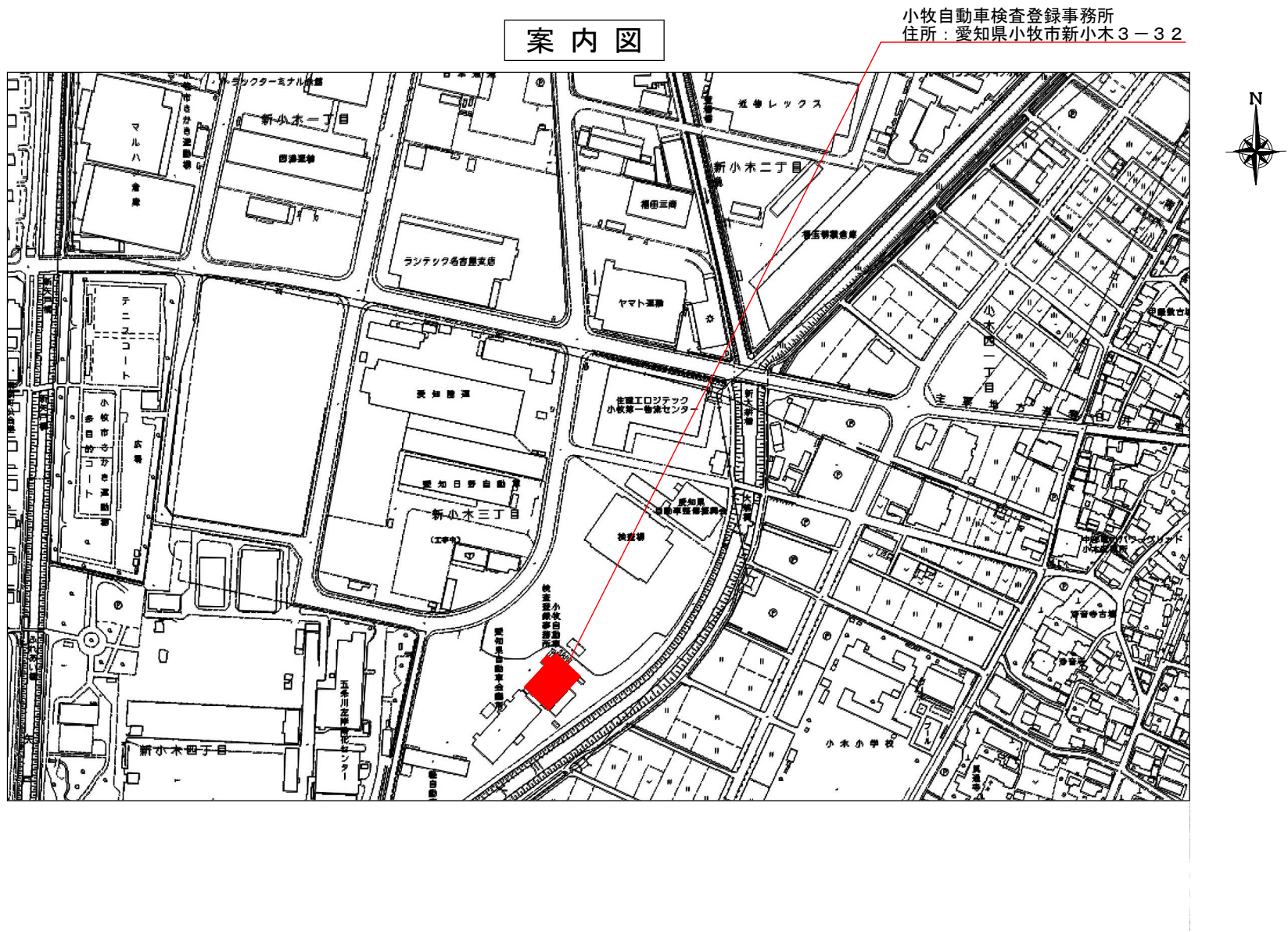


8 ー小牧自動車検査登録事務所空調更新工事



株式会社 アイアンホームズ

アイアンホームズ 一級建築士事務所
一級建築士 古山 博章 大臣登録 第353271号
愛知県知事登録 (い-4) 第14102号

設計

担当

縮尺

NO SCALE

工事名称

8 ー小牧自動車検査登録事務所空調更新工事

図面番号

設計年月日

2026/08/21

図面名称

表紙(案内図)

1/14

8 一小牧自動車検査登録事務所空調更新工事

1. 工事概要

- (1) 工事名称 8一小牧自動車検査登録事務所空調更新工事
- (2) 工事場所 愛知県小牧市新小木3-32
- (3) 完成期限 令和8年11月30日

2. 工事内容 庁舎のエアコン機器の更新工事（別添仕様書参照）

3. その他

- (1) 工事の実施にあたっては、事務所担当者と詳細に打ち合わせのうえ実施すること。
- (2) 工事期間中は、業務に支障がないよう施工すると共に、事故防止のため十分な養生を設けること。
- (3) 資材置き場、工事車両の進入路等については、担当者と打ち合わせのうえ決定すること。
- (4) 土日祝日の作業を基本とすること。
- (5) 換気工事の更新は行わない。
- (6) 仕様書の機器表同等の選定で良いが、電気容量を厳守のこと。
- (7) 作業時間は8時30分～17時15分までとする。
- (8) トイレは庁舎を使用して良い。
- (9) アスベスト処理については、含有するものとして工事を進める。ただし、一部の場所については、省略可能とする。（図面に記載の範囲）監理者に事前確認の上、工事を進めること。

8 一小牧自動車検査登録事務所空調更新工事

[illegible]

工事名称

8 一 小牧自動車検査登録事務所空調更新工事

仕 様 書

I 工 事 概 要

1. 工事場所

愛知県小牧市新小木3-32

2. 建物概要

国：国有財産法延面積 (m2)

建：建築基準法延面積 (m2)

建 物 名 称	構造及び階数	国：延面積	建：延面積	消防法施行令の適用	耐震区分	備 考
庁 舎	RC造 1階	1,005.25㎡	1,005.25㎡	別表第10項	類	

3. 工事項目 (○印の付いたものが対象)

建物別及び 方式及び種別	工 事 種 別						屋 外
○空調調和設備	改設一式						
・換気設備							
・排煙設備							
・自動制御設備							
・衛生器具設備							
・給水設備							
・排水設備							
・給湯設備							
・消火設備							
・厨房設備							
・ガス設備							
・浄化槽設備							

4. 指定部分

○ 無 ・ 有

対象部分：

5. 設備概要 (○印を付けたものは、本工事あるいは既設設備の概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

方式及び種別	設 備 概 要
○ 空調方式	○ 個別空調方式
・ 主要熱源機器	・ 冷温水機
	○ マルチパッケージ型空調調和機
・ 自動制御方式	・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式 ・ 中央監視制御
・ 給水方式	・ 水道直結方式 ・ 高置タンク方式 ・ 圧力タンク方式
	・ ポンプ直送方式 ・ 増圧給水直結方式
・ 排水方式	建物内汚水、雑排水 (・ 合流式 ・ 分流式)
	・ 汚物 ・ 雑排水 ・ 湧水) ・ 無
	建物外放流先 汚 水 (・ 下水管直放流 ・)
	雑排水 (・ 下水管直放流 ・)
・ 消火設備の種類	・ 屋内消火栓設備 ・ スプリンクラー設備 ・ 泡消火設備
	・ 連結散水設備 ・ 連結送水管 ・ 不活性ガス消火設備 (・)
・ ガスの種類	・ 都市ガス (種別) ・ 発熱量 MJ/m ³ (00, 供給事業者名)
	・ 液化石油ガス (・ ボンベ ・ バルクタンク)

工事区分表

項 目	機械設備	建築	電気設備
開口部			
鉄骨部材のほり貫通部	穴開け(補強を含む)		
鉄骨鉄筋コンクリート部材のほり貫通部	補強		
	スリーブ		
RC部材のほりの貫通部	補強		
	スリーブ		
RC部材の床・壁の貫通部	補強		
	スリーブ		
	箱入れ		
床デッキプレートの貫通部	補強		
	切り込み		
開口部の穴埋め補修			
天井・経路開仕切りの開口	ボードの切込み及び補強共		
基礎等			
	屋上設置の設備機器の基礎		
	大形設備種々の基礎		
	防水層に影響する基礎		
	上記以外の機器の基礎		
	架台、アンカーボルト		
外部取付ガラリ	ダクトチャンバーの接続用フランジを含む		
換気扇の取付け			
床下水槽のマンホールふた			
湯沸室等流し台	排水トラップ共		
湯沸室等の排気フード	ステンレス製天蓋		
床、天井点検口			
防油堤	建物内、油サービススタンの防油堤		
電気配管線			
	機器付風の制御室以降の二次側配管配線 (接地共)	○	
	機器付風の制御室への電源供給配管配線	○	
	自動制御室と動力室との電源供給の渡り配管配線		
	自動制御室と動力室との操作回路の渡り配管配線		
	機器と付風操作スイッチとの渡り配管配線 (接地共)	○	
	煙感知器から運動制御室を経て防煙ダンパーに至る配管配線		
	小便器用節水装置の制御室以降の二次側の配管配線		
改修工事			
	コンクリート壁、床など	はつり	
		荒補修	
		仕上げ補修	
	天井、壁などのボード類	撤去 (ボード類のみ)	○
		撤去 (下地開口補強を含む)	○
		復旧	○

工事仕様

共通仕様

① 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁官庁制定の標準仕様書等によるものとし、○印のついたものを適用する。
○ 公共建設工事標準仕様書（機械設備工事編）(令和7年版)（以下「標準仕様書」という。）
○ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）(令和7年版)（以下「改修標準仕様書」という。）
○ 公共建設設備工事標準図（機械設備工事編）(令和7年版)（以下「標準図」という。）

電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。

2. 特記仕様

1) 章は●印の付いたものを適用し、項目及び特記事項は○印の付いたものを適用する。

2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用する。

3) 東海地震に係る地震防災対策強化地域内にある工事にあつては「大規模地震対策特別措置法」による注意情報が発せられた場合、発注者は人身の保護及び安全な避難に必要な補強、落下防止等の安全措施を講ずるとともに、工事中断などの措置をとること。又この事実が発生した場合は、契約書第2条6条（臨機の措置）によって処理されるものとす。

章	項	目	特記事項
●一般共通事項	①発生材の処理等	金属類は構外搬出適切処理とする。 ・ 特別管理産業廃棄物（ ） ・ 構外搬出適切処理 ・ 別途工事 ・ 石綿含有品（ ） 配管用成形保温材 ・ フランジ用ガasket（ ） 配管 ・ ダクト ・ 構外搬出適切処理 ・ 別途工事 ・ 再生資源化を図るもの（ ） 塩ビライニング鋼管 ・ 臭化リチウム ・ 構外搬出適切処理 ・ 別途工事 上記以外のものの処理は構外搬出適切処理とする。	
	2.特定建設資材の再資源化等	本工事は、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であつて、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律施行令」（平成12年1月29日政令第49号）又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号）に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工場契約後に明らかになつたやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議することとする。 また、分別解体・再資源化等の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に要した費用を書面に監督職員に報告する。（書式は「建設副産物情報交換システム」で作成したものとする）	

(1) 分別解体の方法

工程	作業内容	分別解体の方法
・ 新築	建築設備工事	
・ 増築	有	・ 手作業
・ 修繕	無	・ 手作業・機械作業併用
・ 模様替		

(2) 特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設名称	所在地
・ コンクリート ・ コンクリート及び鉄からなる建設資材 ・ 木材 ・ アスファルト・コンクリート		

届出に係る事項の説明時以上に上記と異なる施設（同種の再資源化等を行う施設に限る。）を受注者が提示した場合、当該施設へ搬出することができる。ただし、当該施設への変更については設計変更の対象としない。

3.建設発生土の処理方法

・ 構内敷きななし

・ 本工事は、建設発生土情報交換システム（以下「システム」という。）の登録対象工事であり、受注者は、工事の実施にあたっては土量、土質、工期等に変更があった場合、速やかに当該システムのデータ更新を行つてもらうとする。尚、これにより難しい場合には、監督職員と協議しなければならない。

構外搬出（片道運搬距離 約 km）
DID区間（ ）有／無

④環境への配慮

1) 本工事において、国等有する環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等」の調達に關する基本方針（平成29年2月閣議決定）（以下、グリーン調達基本方針という。）による特定調達品目の判断基準等を満たす環境物品等を選択しよう努める。
なお、本工事において使用する機材のうち、設計図書で定めのあるものについてはグリーン購入法基本方針による。

2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の不燃建築材、ユリア樹脂版、壁紙、接着剤、保温材、複合材、断熱材、塗料、仕上塗材；アセトアルデヒド及びメタレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放放量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤が、可塑剤（フタル酸ジオンブチル及びフタル酸ジオー２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、実験台、その他の什器器具は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものであるとする。

3) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放放量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。
① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建筑材料以外材料
② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建筑材料
④ 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

⑤材料・機材の品質等

1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

2) 別表一に機材等名が記載された製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この説明となる資料は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承認を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。
① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③ 安定的な供給が可能であること。
④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

⑥足場その他

・ 別契約の関係受注者（下請け工事の場合は元請け）が定置したものは無償で使用できる。
○ 本工事で設置する。
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、岡谷ドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
改修標準仕様書第1編2．2．1より足場の類別は以下による。
○ 内部足場（○A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 種）
・ 外部足場（○A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 種）

7.埋戻し土及び盛土

・ 掘切り土の中の良い質土（コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類） ・ 山砂の類

株式会社 アイアンホームズ

愛知県知事登録（イ-4）

アイアンホームズ 級

級建築士 古山 博章

愛知県知事登録（イ-4）

●改修関係事項

①既設との取合い

②施工調査

3.仮設間仕切り

④養生

⑤既設ダクトの再利用

6.非破壊検査

⑦試験

⑧あと施工アンカー

⑨撤去工事

⑩冷媒(フロン)の回収

項 目

③施 工 図 等

④機材の承諾図

①総合調整

②電動機

③電源周波数

④容量等の表示

⑤耐震措置

16.家内板

17.配 管

18.地中埋設標等

19.弁 類

20.絶縁フランジ・絶縁継手

21.銅管用伸縮管継手

22.取替り金物及び防振支持金物

③保 温

24.塗 装

25.は つ り

⑥天井仕上区分

⑦他工事又は他工程とのとりあい

⑧電線類

29.そ の 他

特 記 事 項

本工事で作成する施工図等のうち、次の原因及びその複写図(1部)を監督職員に提出する。ただし、製作図等で原因として提出ができないものは、原因に代わるものとしてよい。
なお、施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲する。
機器製作図一式、 制御システム図一式
試験成績書一式、 機器・配管固定の施工図一式

機械設備工事機材承諾図集(令和7年版)によるほか、監督職員の指示による。

○ 本工事とし下記項目の計画書及び測定報告書を提出する。 ・ 別途とする。
調整項目(測定箇所等は監督職員の指示による。) ・
・ 風量調整 ○ 室内空気温度の測定
・ 空気流及びじんあいの測定 ○ 経路の測定
・ 飲料水の水道の測定 ○ 初期運転状態の記録

換気扇、圧力関及及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としてよい。

○ 60Hz ・ 50Hz

(1)機器能力、容量等は表示された数値以上とする。
(2)電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。

耐震措置の計算及び施工方法は次に示すほか、建築設備耐震設計・施工指針2014年版(独立行政法人建築研究所監修)による。
(1) 機器の据付け及び取付け
設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあつては有効質量)に、地域係数〔○ 1.0 ・ 1.2〕及び次に示す設計用標準水平地震度を乗じたものとする。

設計用標準水平地震度

部 位	機器種別	○ 特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
屋上・及び 屋根	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
地階・1階	防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、
10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。
中間階とは地階、1階を除く各階で上層間に該当しないものを示す。
重要機器は次のものを示す。
・ 給水機器() ・ 排水機器()
・ 換気機器 ○ 空調機器 ・ 熱源機器 ・ 防災設備
・ 監視制御設備 ・ 危険物貯蔵装置 ・ 火を使用する設備
・ 避難経路上に設置する機器
(2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とした値とする。

機器システム図及び重要な定期点検項目等を記載した・アクリル樹脂製・市販パネルの室内格を設備機室に設ける。但し、室内格の大きさは、約 m2とする。

(1)呼び径が〇S以下のステンレス鋼管の継手は、下記による。
メカニカル形管継手(・ 拡管式 ・ プレス式)
(2)建築物導入部配管の変位吸収方法は標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領)による。(a)(b)(c)
(3)溶接部の非破壊検査 ・ 不要 ・ 要()

(1)地中埋設標 ・ 要(図示による) ・ 不要
(2)埋設表示テープ ・ 要(排水管を除く) ・ 不要

特記のない弁の耐圧は、JIS又はJV 5Kとする。
油系に使用する弁の耐圧は、10K(メカリ付弁等)とする。
水道直接給水配管系に使用する弁の耐圧は、JIS又はJV 10Kとする。
ステンレス鋼管に取り付ける呼び径65以上の弁は、ステンレス製とする。

図示の位置に取り付ける。

・ ベローズ形 ・ スリーブ形

図示の位置に取り付ける。

標準仕様書第3編3章1節によるほか次による。ただし各工事で別に指定されたものは除く。
・ 多湿箇所 室名:
・ 共同溝内 ダクト: 配管:
・ 保温無し屋内露出の配管及びダクトは塗装を行う。(ただし、機械室内及び屋上は除く)

既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターによる。穴開けを行う際は、電磁誘導等の機器で鉄筋探索を行う。
() 書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。

図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。

電線及びEMケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.1.1による。
電線類は、EMケーブルを使用する。(機器、壁類を除いてもよい)

屋外設置のマノホール類には用途名を入れる。

設計

担当

縮尺

NO SCALE

大臣登録 第353271号

設計年月日

2026/08/21

第14102号

●空気調和設備

1. 設計温湿度

2. ばいじん量測定口

3. ダクト

4. チャンパー

5. ダンパー

6. 風量測定口

⑦配管材料

8. 弁類

9. 温度計・圧力計

10. 瞬間流量計

11. 油面制御装置

⑫保温及び消音内貼

○換気設備

○自然排気設備

○自動制御設備

外 気				屋 内			
一 般 系 統		一 般 系 統		一 般 系 統		一 般 系 統	
温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏季	℃	%	℃	%	℃	℃	%
冬季	℃	%	℃	%	℃	℃	%

設ける（測定口は80mm以上とし、取り付け箇所は煙道の直線部とする）

・ 低圧ダクト

・ コーナールボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分）

・ アングルフランジ工法

・ スパイラルダクト

・ 高圧1ダクト（範囲は図示による。）

(1)内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。
(2)空気調和機に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼したチャンパーには点検口を設置し、寸法は図示による。
(3)外壁に面するガラリに直接取り付けするチャンパー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。

(1)防煙ダンパー 復帰方式（ ・ 遠隔（定格入力DC24V 0.7A以下） ）
(2)ビストンダンパー 復帰方式（ ・ 遠隔 ）

図示の位置に取り付ける。

(1)冷温水管

・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
・ 架橋ポリエチレン管（VA又はVB）

(2)冷却水管

・ 配管用炭素鋼鋼管（白）

(3)空調用排水管

○ 配管用炭素鋼鋼管（白）
○ 硬質ポリ塩化ビニル管
○ 断熱材被覆鋼管（難燃性）

(4)冷媒管

○ 断熱材被覆鋼管（難燃性）

(5)膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管は配管用炭素鋼鋼管（白）とする。
(6)加温用給水管

・ ステンレス鋼管
・ ポリ粉体鋼管（PA又はPB）
・ 塩ビライニング鋼管（VA又はVB）
・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）
・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch 40
・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch 80

(8)油管

・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）

(1)冷温水コイル廻り（標準図）の弁は（ ・ 仕切弁 ・ バタフライ弁 ）とする。
(2)蒸気加熱コイル廻り（標準図）の弁は仕切弁とする。
(3)ファンコイルユニットと冷温水管の接続部（仕込）には、ボール弁を取付ける。
また、ファンコイルユニットには、（ ・ 流量調整弁 ・ 定流量弁 ）を設置する。

下記の表に○をつけた箇所を設置する。なお円形指示計は100mmφ以上とする。

機材名		計測部位	温度計の種類	温度計の圧力計	
			入口側	出口側	出口側
冷温水機	冷温水	円形指示計	○	○	○
冷凍機	冷却水	円形指示計	○	○	○
パッケージ形空気調和機	サブライチャンパー	円形指示計	○	○	○
レタンチャンパー					
ユニット形空気調和機	冷温水	円形指示計	○	○	○
サブライチャンパー					
熱交換器		円形指示計	○	○	○
ヘッダー		円形指示計	○	○	○

瞬間流量計はビトーマ方式によるもので、止水コック付とし、図示の位置に取り付ける。なお瞬間流量計の形式は、（ ・ 固定式 ・ 着脱式 ）とする。
着脱式の場合、（40A 個 100A 個）を付属する。

制御室には（ ・ 給油ポンプ制御 ・ 返油ポンプ制御 ・ 漏えい検知警報 ・ 減油警報 ・ 減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ）の端子を設ける。
なお、フオートスイッチ部と制御室間の配管配線は製造者の標準仕様とする。
また、フオートスイッチ部はステンレス鋼製（油面検出部）とする。

標準仕様書第2編3. 1. 4によるほか、次による。
・ 膨張管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3. 1. 4の温水管の項による。
・ 建物内の空気抜き管の保温は標準仕様書第2編3. 1. 4の温水管の項により、空気抜き対象管から空気抜きまでとする。
・ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編3. 1. 5の排水管の項による。
・ 冷媒管の保温外装は下記による。（ただし、天井内、機械室内、PS内は保温外装不要）
屋内露出（○ 合成樹脂製カバー ・ 保温化粧ケース（材質： ））
屋外露出（○ ステンレス鋼板 ・ 保温化粧ケース（材質： ））
・ カラー亜鉛鉄板 ・ 溶融アルミニウム-亜鉛鉄板）
・ 外気取入れ用ダクトの保温要（保温の厚さ25mm、範囲は図示による）
・ 排気用ダクトの保温要（保温の厚さ25mm、範囲は図示による）
・ 還気用ダクトの保温要（保温の厚さ25mm、範囲は図示による）

1. ダクト

2. 風量測定口

3. ダンパー

4. シールする排気ダクトの系統

5. チャンパー

6. 保温

1. ダクト

2. 排煙口の形式

3. 排煙口開放及び復帰方式

4. 排煙風量測定

1. システム構成その他

2. 電気計装用配線

・ 低圧ダクト

・ コーナールボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分）

・ アングルフランジ工法

・ スパイラルダクト

・ 高圧1ダクト（範囲は図示による）

・ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクト（範囲及び仕様は図示による）

・ 厨房系統の排気ダクトは標準仕様書第3編2. 2. 2. 2のダクトの板厚の項より一番手厚いものを使用する。（範囲は図示による）

図示の位置に取り付ける。

空気調和設備の当該項目による。

厨房系統 ・ 浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統

空気調和設備の当該項目による。

次のダクトは保温を行う。
・ 外気取入れ用ダクトの保温要（保温の厚さ25mm、範囲は図示による）
・ 排気用ダクトの保温要（保温の厚さ25mm、範囲は図示による）
・ 多湿箇所のダクトの保温要（保温の厚さ50mm、範囲は図示による）
・ 厨房及び湯沸室の排気ダクトの保温要（保温の厚さ50mm(RW)、範囲は図示による）

・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（厚1.6mm）

・ スリット形 ・ バル形

・ 壁取付 ・ スリット形 ・ バル形

・ 電気式（遠隔復帰 ・ 要 ・ 不要） ・ ワイヤー式

建築設備定期検査業務基準書平成20年版（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準じる。

別図による

電線及びEMケーブルの規格は標準仕様書第4編1. 5. 1表4. 1. 1. 1による。
屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。
天井内隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。

工事名称

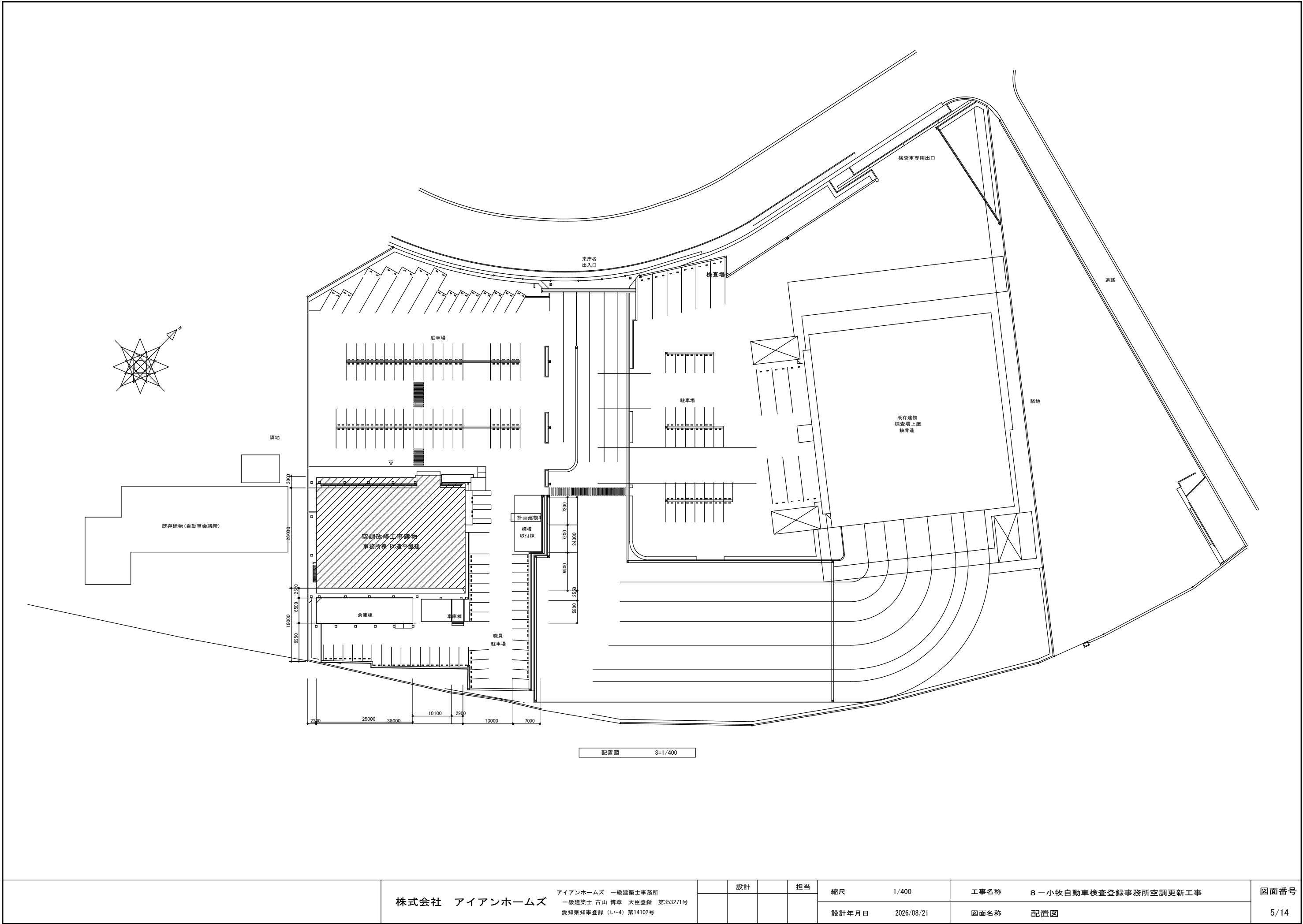
8-小牧自動車検査登録事務所空調更新工事

図面番号

4/14

図面名称

特記仕様書



株式会社 アイアンホームズ

アイアンホームズ 一級建築士事務所
一級建築士 古山 博章 大臣登録 第353271号
愛知県知事登録 (い-4) 第14102号

設計

担当

縮尺

1/400

工事名称

8－小牧自動車検査登録事務所空調更新工事

図面番号

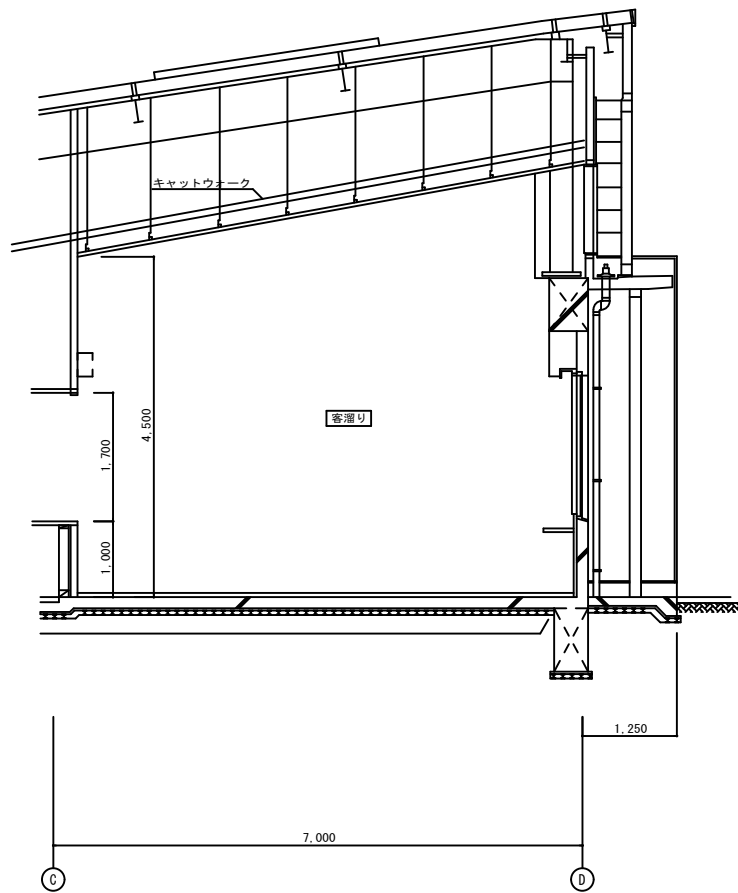
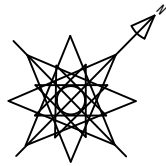
設計年月日

2026/08/21

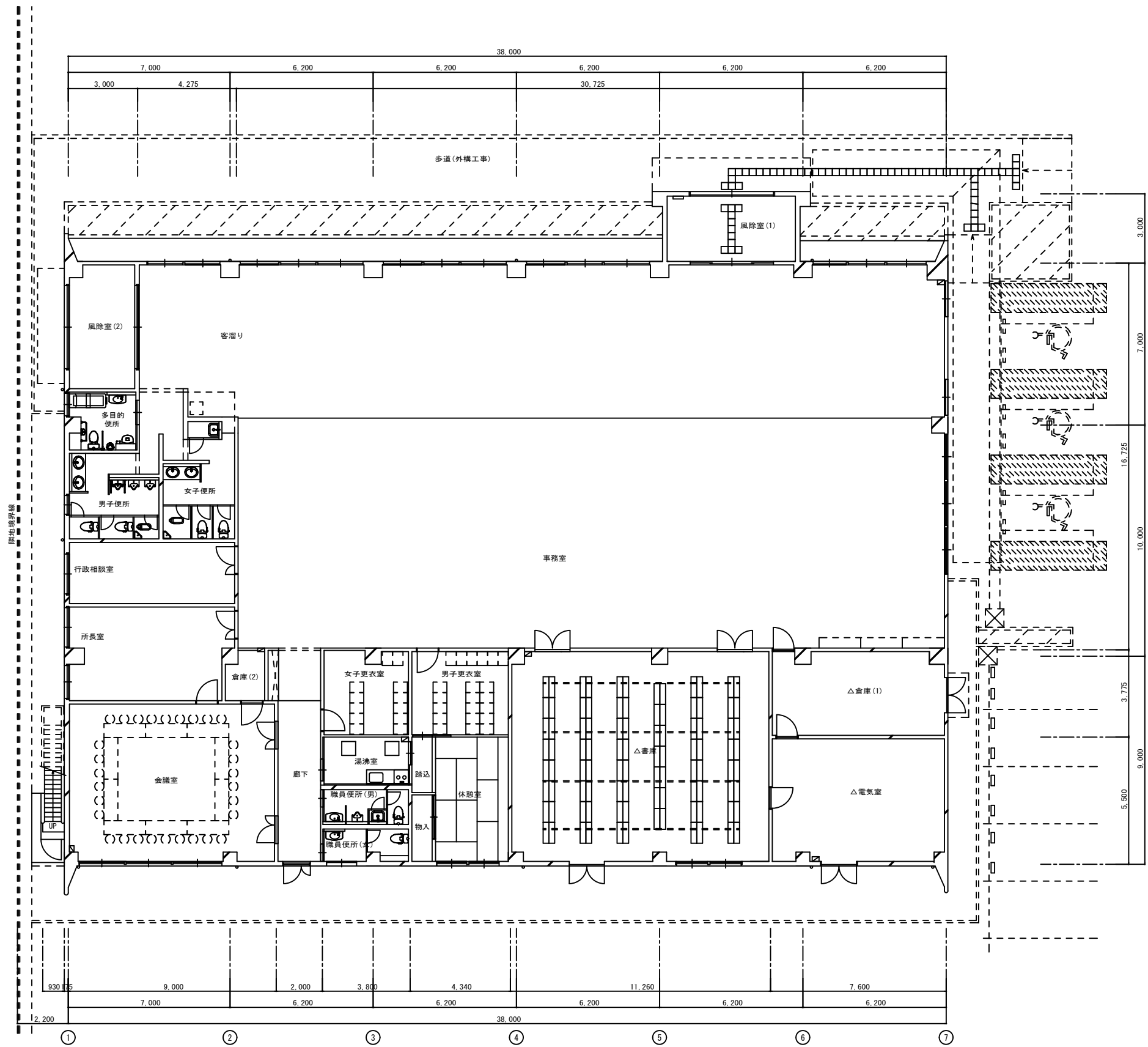
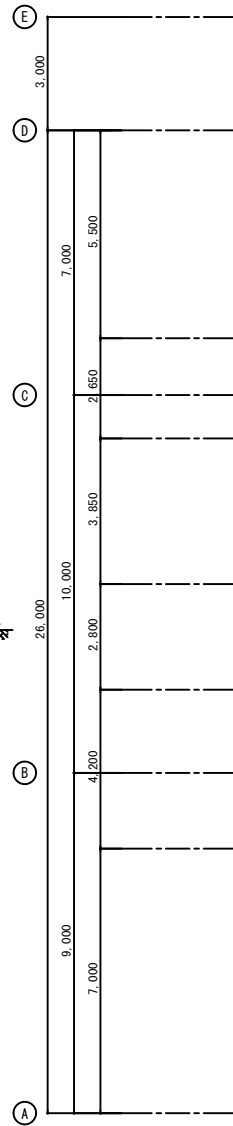
図面名称

配置図

5/14

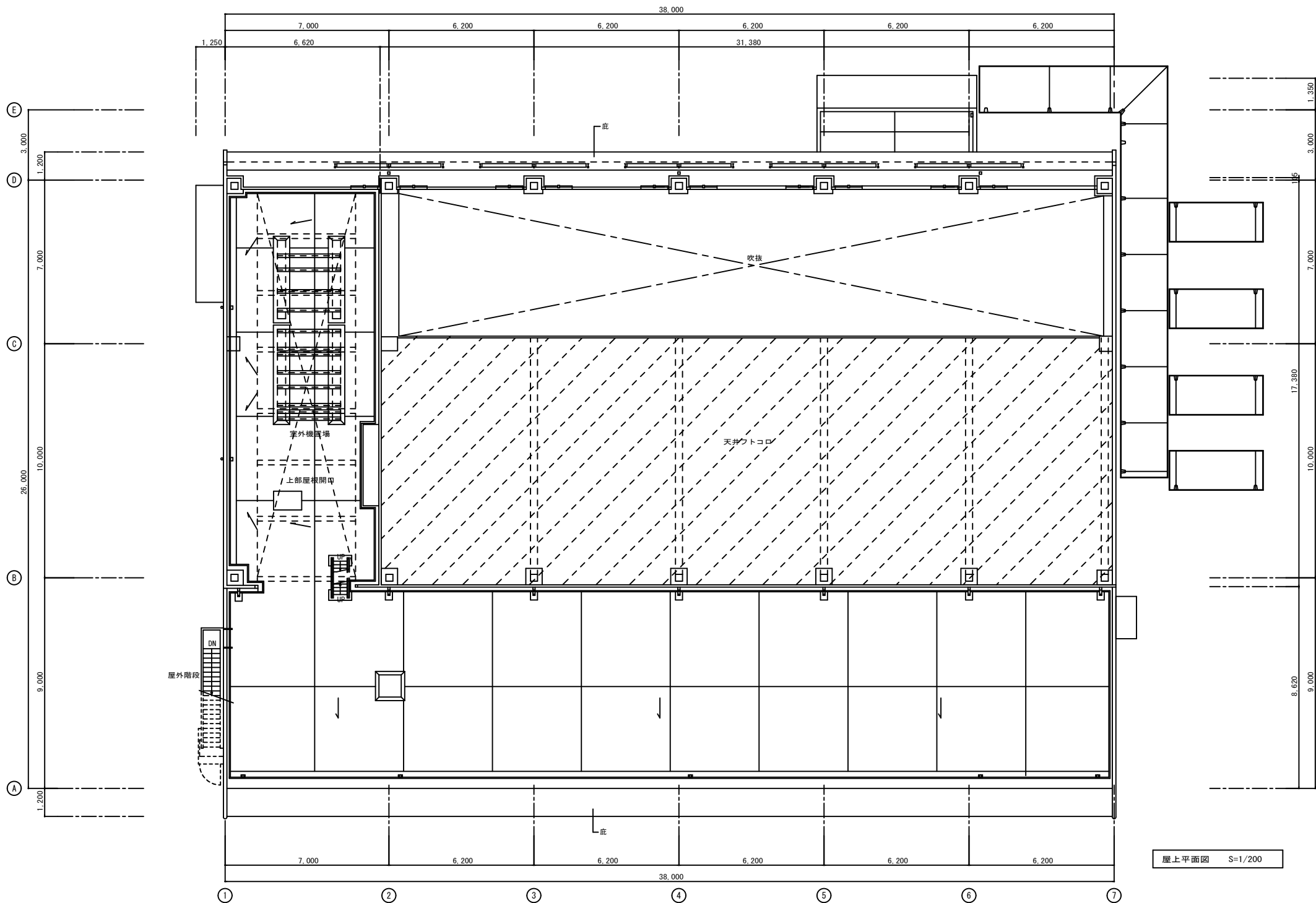
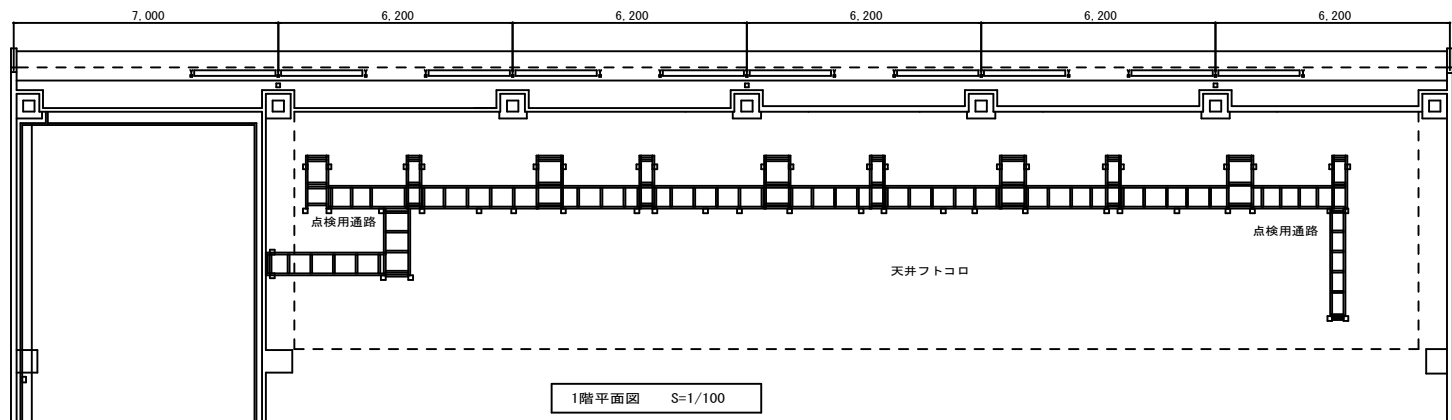
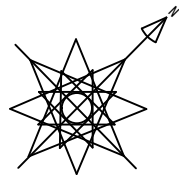


矩計図 S=1/100



1階平面図 S=1/200

株式会社 アイアンホームズ	アイアンホームズ 一級建築士事務所 一級建築士 古山 博章 大臣登録 第353271号 愛知県知事登録 (い-4) 第14102号	設計	担当	縮尺	1/200	工事名称	8-小牧自動車検査登録事務所空調更新工事	図面番号 6/14
				設計年月日	2026/08/21	図面名称	現況平面図 (1 F)	



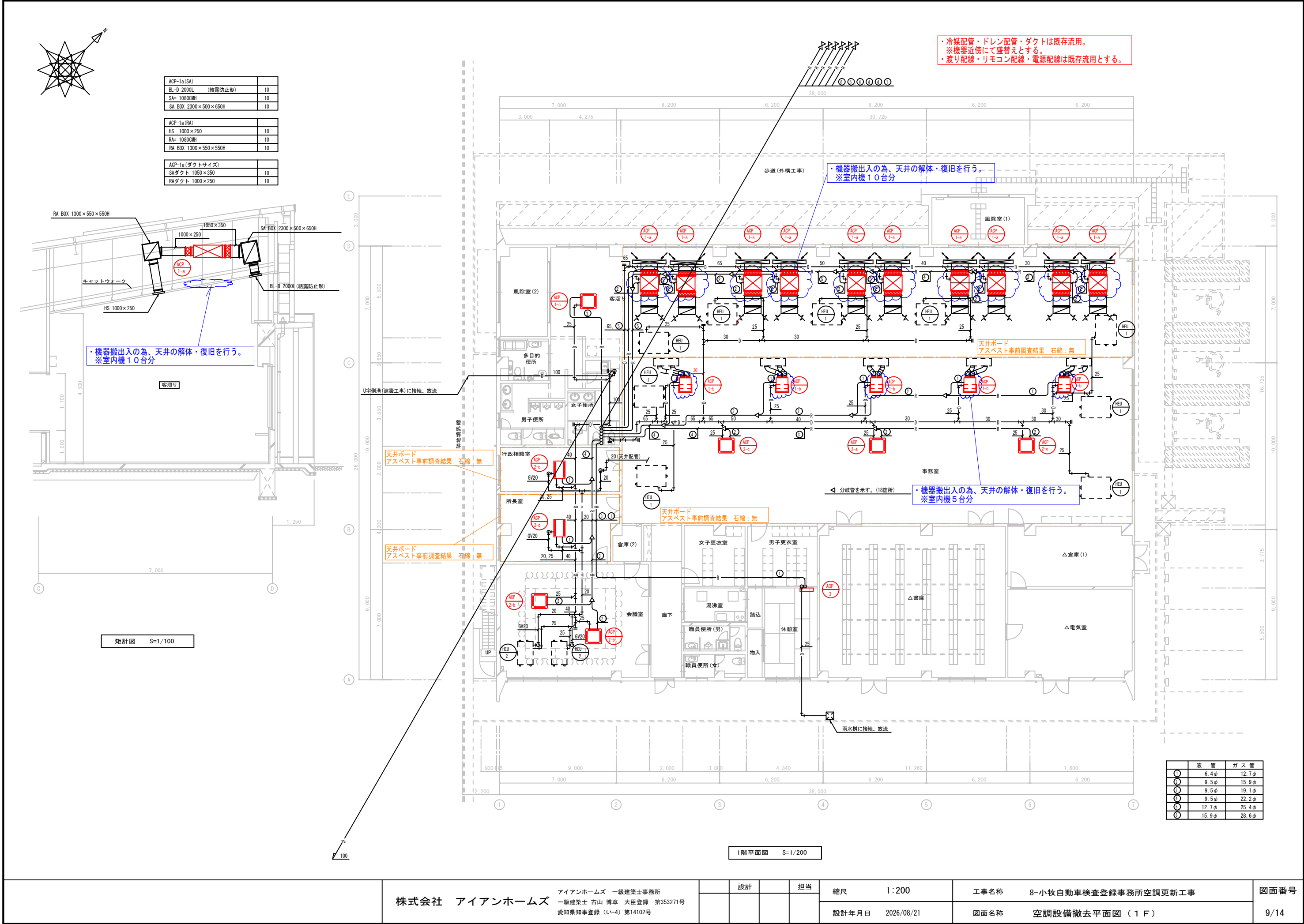
株式会社 アイアンホームズ	アイアンホームズ 一級建築士事務所 一級建築士 古山 博章 大臣登録 第353271号 愛知県知事登録 (い-4) 第14102号	設計	担当	縮尺	1/200	工事名称	8-小牧自動車検査登録事務所空調更新工事	図面番号 7/14
				設計年月日	2026/08/21	図面名称	現況平面図 (R F)	

空調設備撤去機器

図示番号	機器名称	形式・仕様	電気容量			台数	製造者及び型式	設置場所及び備考
			電源	圧縮機	消費電力			
			(V)	(KW)	(KW)			
ACP-1A (系統-1)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室外機	型式 20馬力 冷房能力 56.0 KW 暖房能力 63.0 KW 付属品 スプリング防振架台	3-200	7.2+5.6	冷 16.60 暖 15.20 低温 15.60	1	日立アプライアンス(株) RAS-NP560FS3	屋上室外機置場 冷媒＝R410 基礎（別途建築工事）
ACP-1B (系統-1)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室外機	型式 12馬力 冷房能力 33.5 KW 暖房能力 37.5 KW 付属品 スプリング防振架台	3-200	7.2	冷 9.22 暖 8.70 低温 7.54	1	日立アプライアンス(株) RAS-NP335FS3	屋上室外機置場 冷媒＝R410 基礎（別途建築工事）
ACP-1C (系統-1)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室外機	型式 10馬力 冷房能力 28.0 KW 暖房能力 31.5 KW 付属品 スプリング防振架台	3-200	6.0	冷 7.77 暖 7.57 低温 6.98	1	日立アプライアンス(株) RAS-NP280FS3	屋上室外機置場 冷媒＝R410 基礎（別途建築工事）
ACP-1a (系統-1)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室内機	型式 天井埋込形 冷房能力 7.1 KW 暖房能力 8.0 KW 付属品	1-200		冷 0.27 暖 0.27	10	日立アプライアンス(株) RP1-AP71K	エントランス・客溜り 冷媒＝R410
ACP-1b (系統-1)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室内機	型式 天井ビルトイン形 冷房能力 4.5 KW 暖房能力 5.0 KW 付属品 吸込口付パネル	1-200		冷 0.09 暖 0.07	5	日立アプライアンス(株) RCB-AP45K	屋上室外機置場 エントランス・客溜り
ACP-1c (系統-1)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室内機	型式 天井カセット形4方向吹出し 冷房能力 7.1 KW 暖房能力 8.0 KW 付属品 化粧パネル、ドレンアップメカ	1-200		冷 0.06 暖 0.05	1	日立アプライアンス(株) RC1-AP71K1	エントランス・客溜り 冷媒＝R410
ACP-2 (系統-2)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室外機	型式 10馬力 冷房能力 28.0 KW 暖房能力 31.5 KW 付属品 スプリング防振架台	3-200	6.0	冷 7.77 暖 7.57 低温 6.98	1	日立アプライアンス(株) RAS-NP280FS3	屋上室外機置場 冷媒＝R410 基礎（別途建築工事）
ACP-2a (系統-2)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室内機	型式 天井カセット形4方向吹出し 冷房能力 11.2 KW 暖房能力 12.5 KW 付属品 化粧パネル、ドレンアップメカ	1-200		冷 0.13 暖 0.12	1	日立アプライアンス(株) RC1-AP12K1	事務室 冷媒＝R410
ACP-2c (系統-2)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室内機	型式 天井カセット形4方向吹出し 冷房能力 8.0 KW 暖房能力 9.0 KW 付属品 化粧パネル、ドレンアップメカ	1-200		冷 0.07 暖 0.06	2	日立アプライアンス(株) RC1-AP12K1	事務室 冷媒＝R410
ACP-2 (系統-3)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室外機	型式 10馬力 冷房能力 28.0 KW 暖房能力 31.5 KW 付属品 スプリング防振架台	3-200	6.0	冷 7.77 暖 7.57 低温 6.98	1	日立アプライアンス(株) RAS-NP280FS3	屋上室外機置場 冷媒＝R410 基礎（別途建築工事）
ACP-2b (系統-3)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室内機	型式 天井カセット形4方向吹出し 冷房能力 9.0 KW 暖房能力 10.0 KW 付属品 ワイヤードリモコンスイッチ、化粧パネル、ドレンアップメカ	1-200		冷 0.08 暖 0.07	2	日立アプライアンス(株) RC1-AP90K1	会議室 冷媒＝R410
ACP-2d (系統-3)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室内機	型式 天井カセット形4方向吹出し 冷房能力 5.6 KW 暖房能力 6.3 KW 付属品 ワイヤードリモコンスイッチ、化粧パネル、ドレンアップメカ	1-200		冷 0.08 暖 0.07	1	日立アプライアンス(株) RC1D-AP56K	所長室 冷媒＝R410
ACP-2e (系統-3)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室内機	型式 天井カセット形2方向吹出し 冷房能力 2.8 KW 暖房能力 3.2 KW 付属品 ワイヤードリモコンスイッチ、化粧パネル、ドレンアップメカ	1-200		冷 0.06 暖 0.05	1	日立アプライアンス(株) RC1D-AP28K	行政相談室 冷媒＝R410
ACP-3 (系統-4)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン	型式 壁掛け形 冷房能力 4.5 KW 暖房能力 5.0 KW 付属品 ワイヤレスリモコン	1-200	0.65	冷 1.23 暖 1.34	1	日立アプライアンス(株) RPK-AF50HVMJ3	休憩室 冷媒＝R410
	集中管理リモコン	運転/停止、室温設定/表示、風速設定、風向設定、ルーバー設定				1	日立アプライアンス(株) RC1-AP12K1	事務室
	ON/OFFリモコン					1	日立アプライアンス(株) PSC-A16RS1	
共通仕様	1. 暖房能力には補助加熱器の加熱能力を含む。 2. 冷房能力及び暖房能力はJISB8616による。 3. 屋外ユニットの基礎は（・標準基礎 ・防振基礎）とする。 4. 屋内、屋外ユニット間の電気配線（アース共）は付属とし、製造者の標準とする。		5. 電気ヒーター及び加湿器を組込む場合は、送付機とインターロックする。 6. 圧縮機屋外形で合計定格出力3.7kW以上7.5kW以下のものは、共通仕様書第2編4.3.1の 2.4.4表過負荷及び欠相保護装置と連相コンデンサーを除き製造者の標準とする。					

空調設備改修機器

図示番号	機器名称	形式・仕様	電気容量			台数	製造者及び型式	設置場所及び備考
			電源	圧縮機	消費電力			
			(V)	(KW)	(KW)			
ACP-1A (系統-1)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室外機	型式 20馬力 冷房能力 56.0 KW 暖房能力 63.0 KW 付属品 スプリング防振架台	3-200	7.3+7.3	冷 21.00 暖 22.50 低温 18.70	1	日立アプライアンス(株) RAS-AP560SSR 同等品	屋上室外機置場 冷媒＝R410
ACP-1B (系統-1)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室外機	型式 12馬力 冷房能力 33.5 KW 暖房能力 37.5 KW 付属品 スプリング防振架台	3-200	7.29	冷 9.85 暖 11.00 低温 10.40	1	日立アプライアンス(株) RAS-AP335SSR 同等品	屋上室外機置場 冷媒＝R410
ACP-1C (系統-1)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室外機	型式 10馬力 冷房能力 28.0 KW 暖房能力 31.5 KW 付属品 スプリング防振架台	3-200	5.88	冷 8.93 暖 8.50 低温 9.40	1	日立アプライアンス(株) RAS-AP280SSR 同等品	屋上室外機置場 冷媒＝R410
ACP-1a (系統-1)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室内機	型式 天井埋込形 冷房能力 7.1 KW 暖房能力 8.5 KW 付属品	1-200		冷 0.08 暖 0.08	10	日立アプライアンス(株) RPI-GP71KA 同等品	エントランス・客溜り 冷媒＝R410
ACP-1b (系統-1)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室内機	型式 天井ビルトイン形 冷房能力 4.5 KW 暖房能力 5.0 KW 付属品 化粧パネル	1-200		冷 0.11 暖 0.11	5	日立アプライアンス(株) RCB-GP45KA 同等品	屋上室外機置場 エントランス・客溜り
ACP-1c (系統-1)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室内機	型式 天井カセット形4方向吹出し 冷房能力 7.1 KW 暖房能力 8.5 KW 付属品 化粧パネル、ドレンアップメカ	1-200		冷 0.08 暖 0.08	1	日立アプライアンス(株) RC1-GP71KA 同等品	エントランス・客溜り 冷媒＝R410
ACP-2A (系統-2)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室外機	型式 10馬力 冷房能力 28.0 KW 暖房能力 31.5 KW 付属品 スプリング防振架台	3-200	5.88	冷 8.93 暖 8.50 低温 9.40	1	日立アプライアンス(株) RAS-AP280SSR 同等品	屋上室外機置場 冷媒＝R410
ACP-2a (系統-2)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室内機	型式 天井カセット形4方向吹出し 冷房能力 11.2 KW 暖房能力 12.5 KW 付属品 化粧パネル、ドレンアップメカ	1-200		冷 0.13 暖 0.12	1	日立アプライアンス(株) RC1-GP112KA 同等品	事務室 冷媒＝R410
ACP-2c (系統-2)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室内機	型式 天井カセット形4方向吹出し 冷房能力 8.0 KW 暖房能力 9.0 KW 付属品 化粧パネル、ドレンアップメカ	1-200		冷 0.09 暖 0.08	2	日立アプライアンス(株) RC1-GP80KA 同等品	事務室 冷媒＝R410
ACP-2B (系統-3)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室外機	型式 10馬力 冷房能力 28.0 KW 暖房能力 31.5 KW 付属品 スプリング防振架台	3-200	5.88	冷 8.93 暖 8.50 低温 9.40	1	日立アプライアンス(株) RAS-AP280SSR 同等品	屋上室外機置場 冷媒＝R410
ACP-2b (系統-3)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室内機	型式 天井カセット形4方向吹出し 冷房能力 9.0 KW 暖房能力 10.0 KW 付属品 ワイヤードリモコンスイッチ、化粧パネル、ドレンアップメカ	1-200		冷 0.09 暖 0.08	2	日立アプライアンス(株) RC1-GP90KA 同等品	会議室 冷媒＝R410 加湿器は不要
ACP-2d (系統-3)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室内機	型式 天井カセット形2方向吹出し 冷房能力 5.6 KW 暖房能力 6.3 KW 付属品 ワイヤードリモコンスイッチ、化粧パネル、ドレンアップメカ	1-200		冷 0.06 暖 0.05	1	日立アプライアンス(株) RC1D-GP56KA 同等品	所長室 冷媒＝R410 加湿器は不要
ACP-2e (系統-3)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ビル用マルチ) 室内機	型式 天井カセット形2方向吹出し 冷房能力 2.8 KW 暖房能力 3.2 KW 付属品 ワイヤードリモコンスイッチ、化粧パネル、ドレンアップメカ	1-200		冷 0.06 暖 0.05	1	日立アプライアンス(株) RC1D-GP28KA 同等品	行政相談室 冷媒＝R410
ACP-3 (系統-4)	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン	型式 壁掛け形 冷房能力 4.5 KW 暖房能力 5.0 KW 付属品 ワイヤレスリモコン	1-200	0.65	冷 1.21 暖 1.26	1	日立アプライアンス(株) RPK-GP50RSHJ7 同等品	休憩室 冷媒＝R32
共通仕様	集中管理リモコン	運転/停止、室温設定/表示、風速設定、風向設定、ルーバー設定				1	日立アプライアンス(株) RSC-A32MN2 同等品	事務室
	ON/OFFリモコン					1	日立アプライアンス(株) PSC-A16RS1 同等品	
	5.電気ヒーター及び加湿器を組込む場合は、送付機とインターロックする。							
6.圧縮機屋外形で合計定格出力3.7kW以上7.5kW以下のものは、共通仕様書第2編4.3.1の								
2.4.4表過負荷及び欠相保護装置と連相コンデンサーを除き製造者の標準とする。								

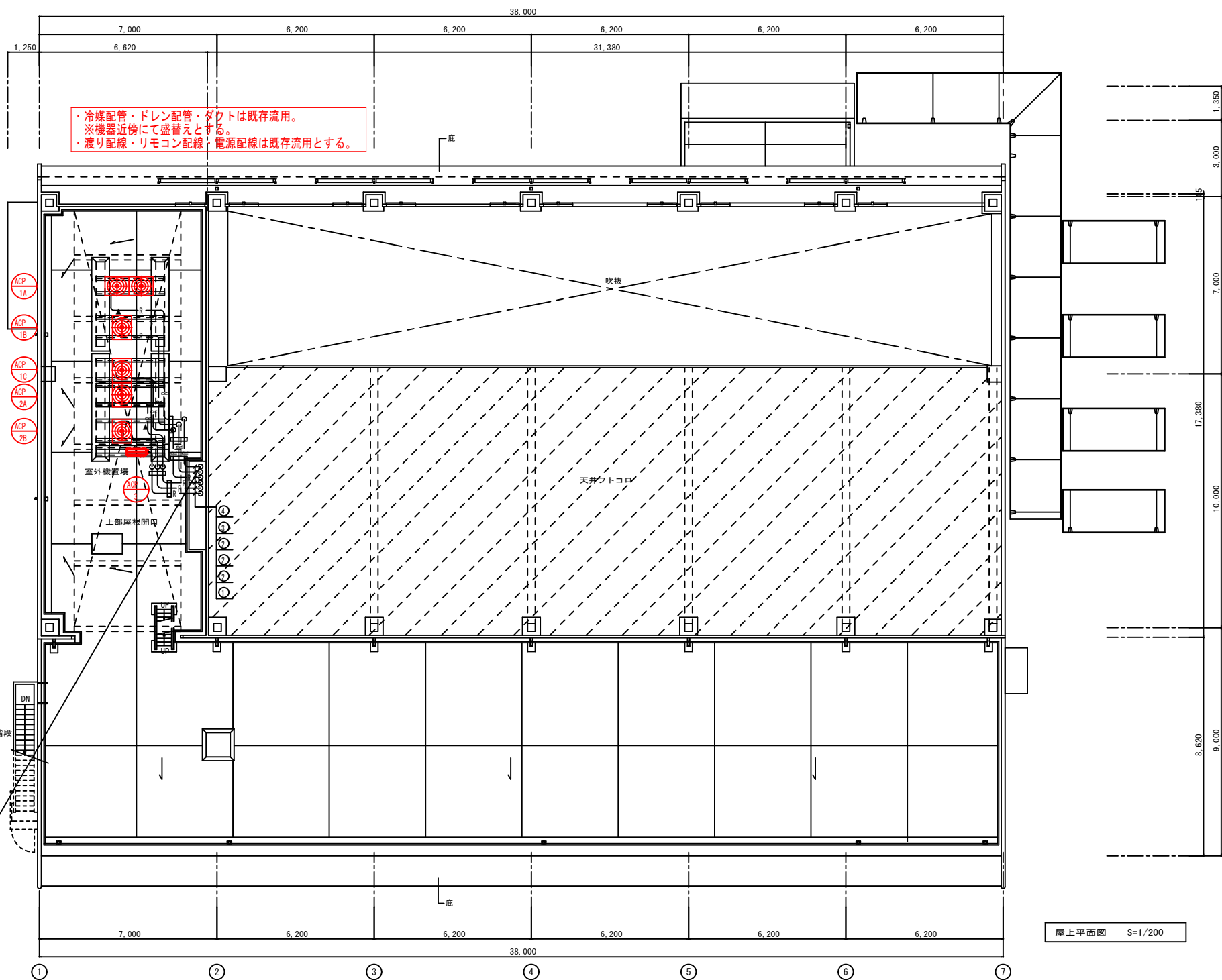
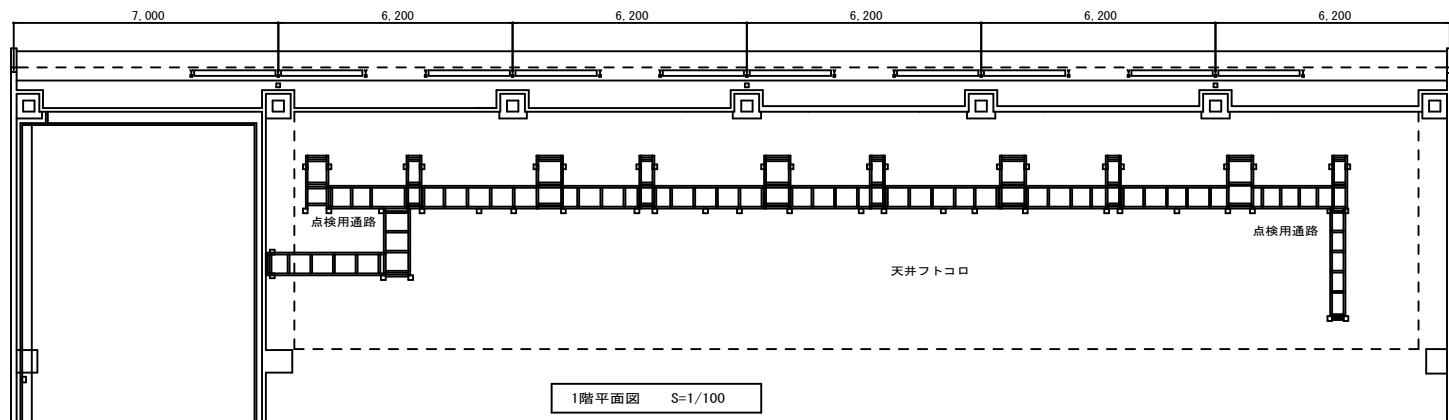
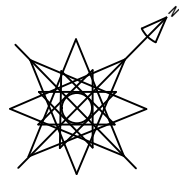


ACP-1a (SA)	
BL-D 2000L (結露防止形)	10
SA= 1080CMH	10
SA BOX 2300×500×650H	10

ACP-1a (RA)	
HS 1000×250	10
RA= 1080CMH	10
RA BOX 1300×550×550H	10

ACP-1a (ダクトサイズ)	
SAダクト 1050×350	10
RAダクト 1000×250	10

	液 管	ガ ス 管
①	6.4φ	12.7φ
②	9.5φ	15.9φ
③	9.5φ	19.1φ
④	9.5φ	22.2φ
⑤	12.7φ	25.4φ
⑥	15.9φ	28.6φ



	液 管	ガ ス 管
①	6.4φ	12.7φ
②	9.5φ	22.2φ
③	12.7φ	25.4φ
④	15.9φ	28.6φ

株式会社 アイアンホームズ

アイアンホームズ 一級建築士事務所
一級建築士 古山 博章 大臣登録 第353271号
愛知県知事登録 (い-4) 第14102号

設計

担当

縮尺 1:200

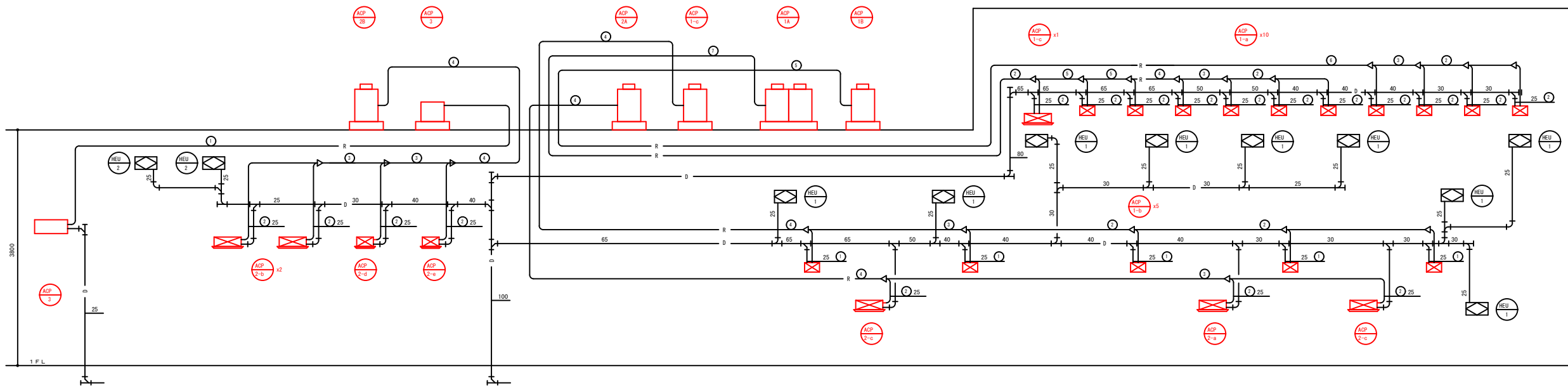
設計年月日 2026/08/21

工事名称 8-小牧自動車検査登録事務所空調更新工事

図面名称 空調設備撤去平面図 (空調設備) (R F)

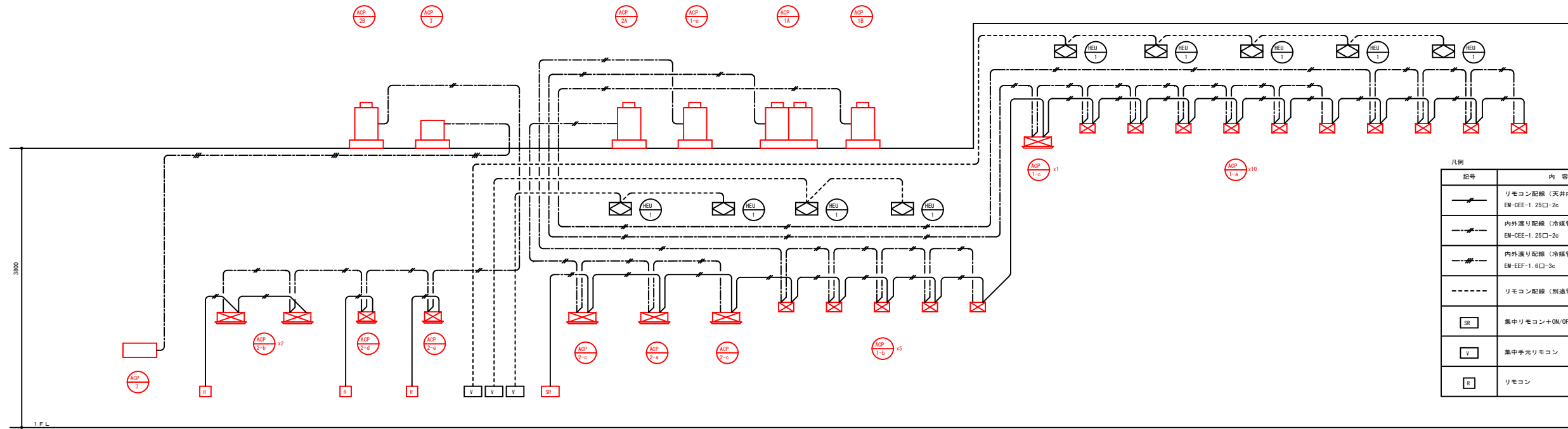
図面番号

10/14



配管系統図

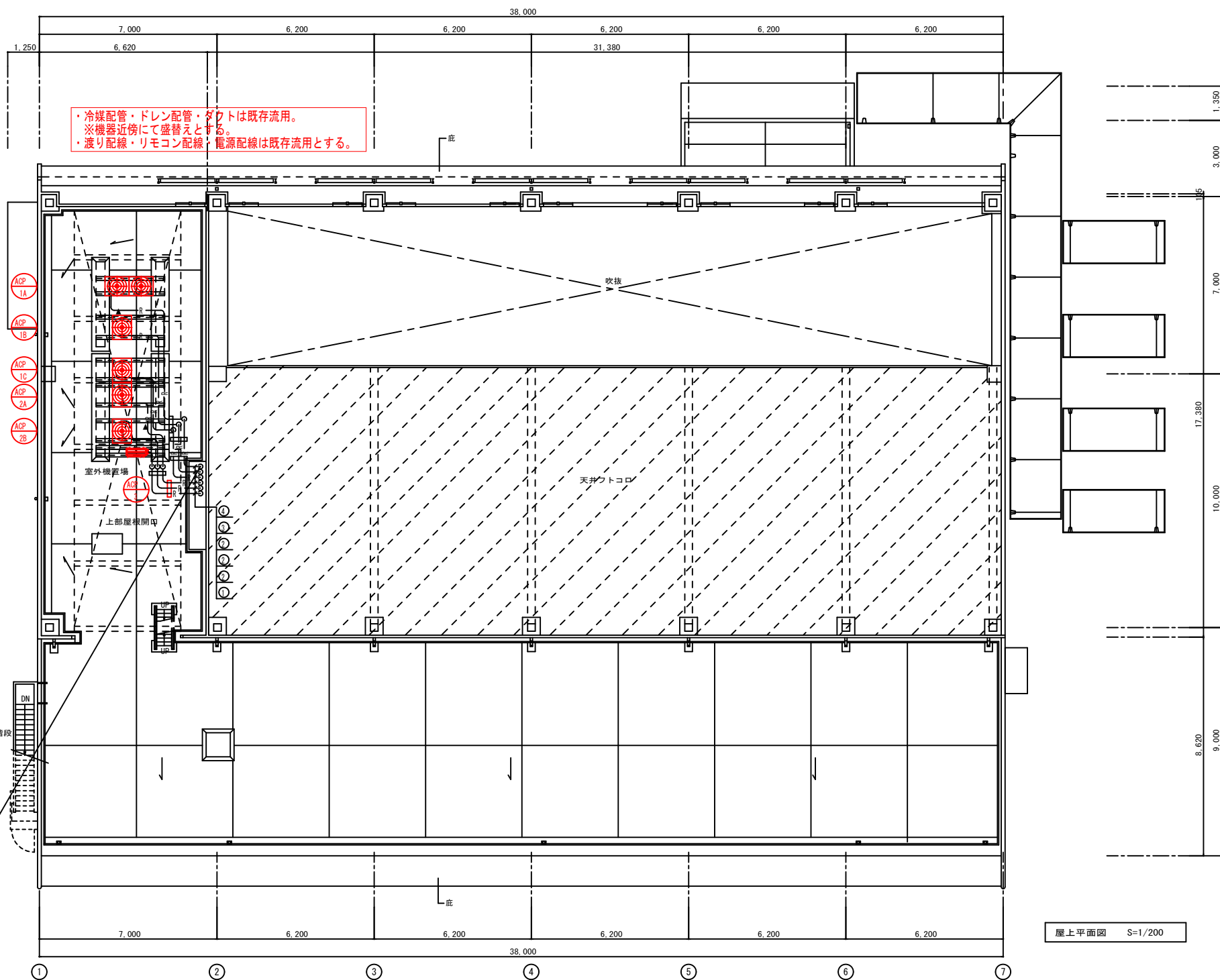
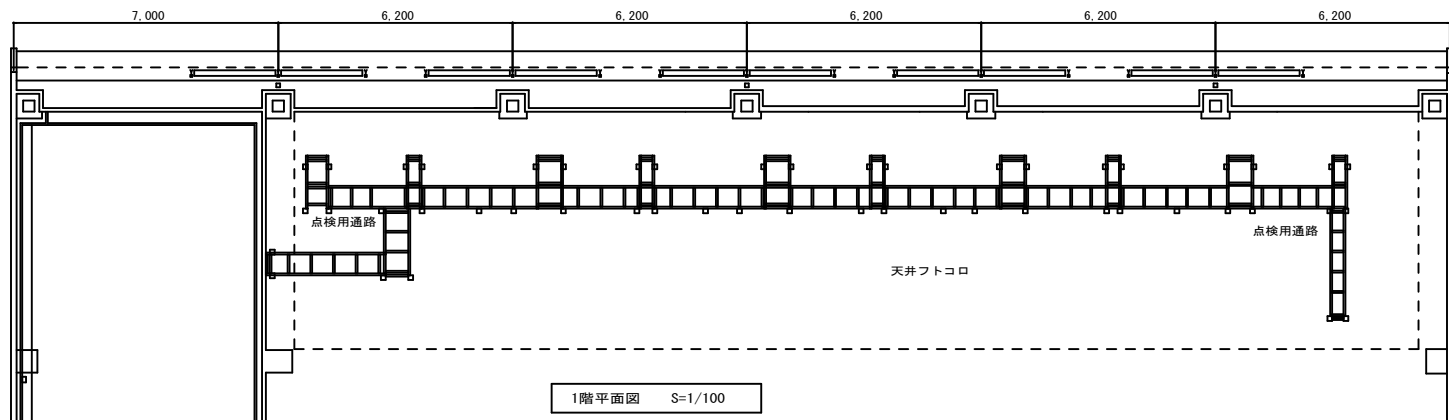
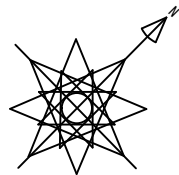
	液 管	ガ ス 管
①	6.4φ	12.7φ
②	9.5φ	15.9φ
③	9.5φ	19.1φ
④	9.5φ	22.2φ
⑤	12.7φ	25.4φ
⑥	12.7φ	28.6φ
⑦	15.9φ	28.6φ



制御系統図

凡例	
記号	内 容
	リモコン配線 (天井内コログシ) EM-OEE-1, 25□-2c
	内外渡り配線 (冷媒管共巻) EM-OEE-1, 25□-2c
	内外渡り配線 (冷媒管共巻) EM-EEF-1, 6□-3c
	リモコン配線 (別途電気設備工事)
	集中リモコン+ON/OFFリモコン
	集中手元リモコン
	リモコン

	液 管	ガ ス 管
①	6.4φ	12.7φ
②	9.5φ	15.9φ
③	9.5φ	19.1φ
④	9.5φ	22.2φ
⑤	12.7φ	25.4φ
⑥	15.9φ	28.6φ



・冷媒配管・ドレン配管・ダクトは既存流用。
※機器近傍にて盛替えとする。
・渡り配線・リモコン配線 電源配線は既存流用とする。

	液 管	ガ ス 管
①	6.4φ	12.7φ
②	9.5φ	22.2φ
③	12.7φ	25.4φ
④	15.9φ	28.6φ

株式会社 アイアンホームズ

アイアンホームズ 一級建築士事務所
一級建築士 古山 博章 大臣登録 第353271号
愛知県知事登録 (い-4) 第14102号

設計

担当

縮尺 1:200

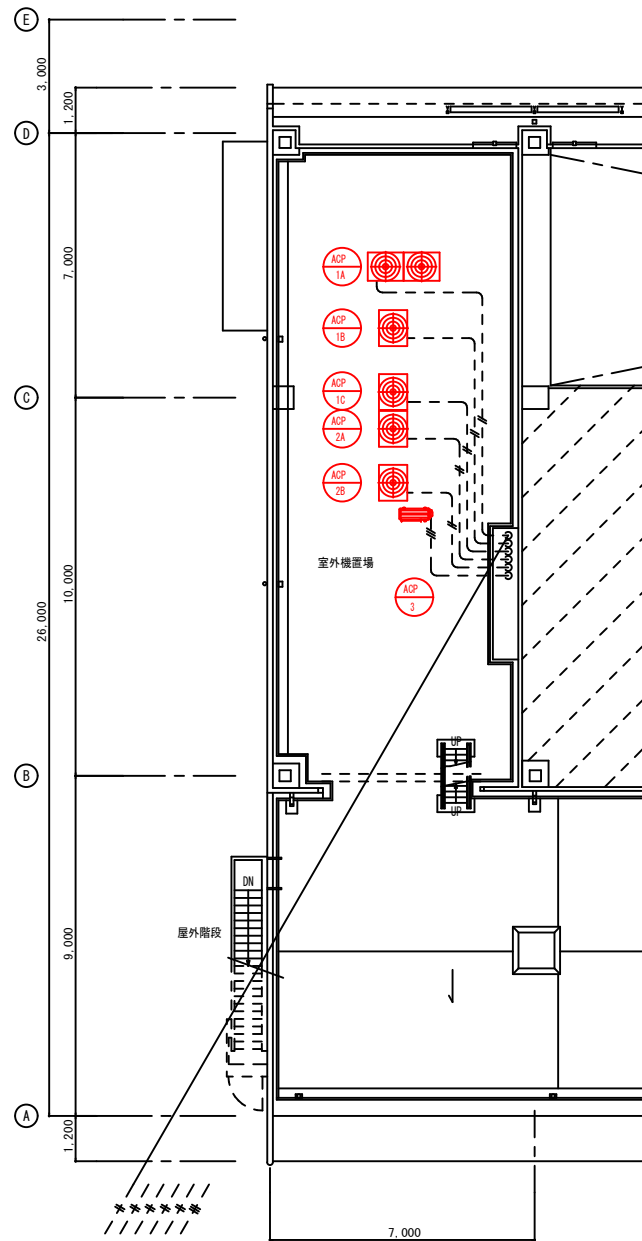
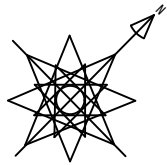
工事名称 8-小牧自動車検査登録事務所空調更新工事

図面番号

設計年月日 2026/08/21

図面名称 空調設備改修平面図 (空調設備) (R F)

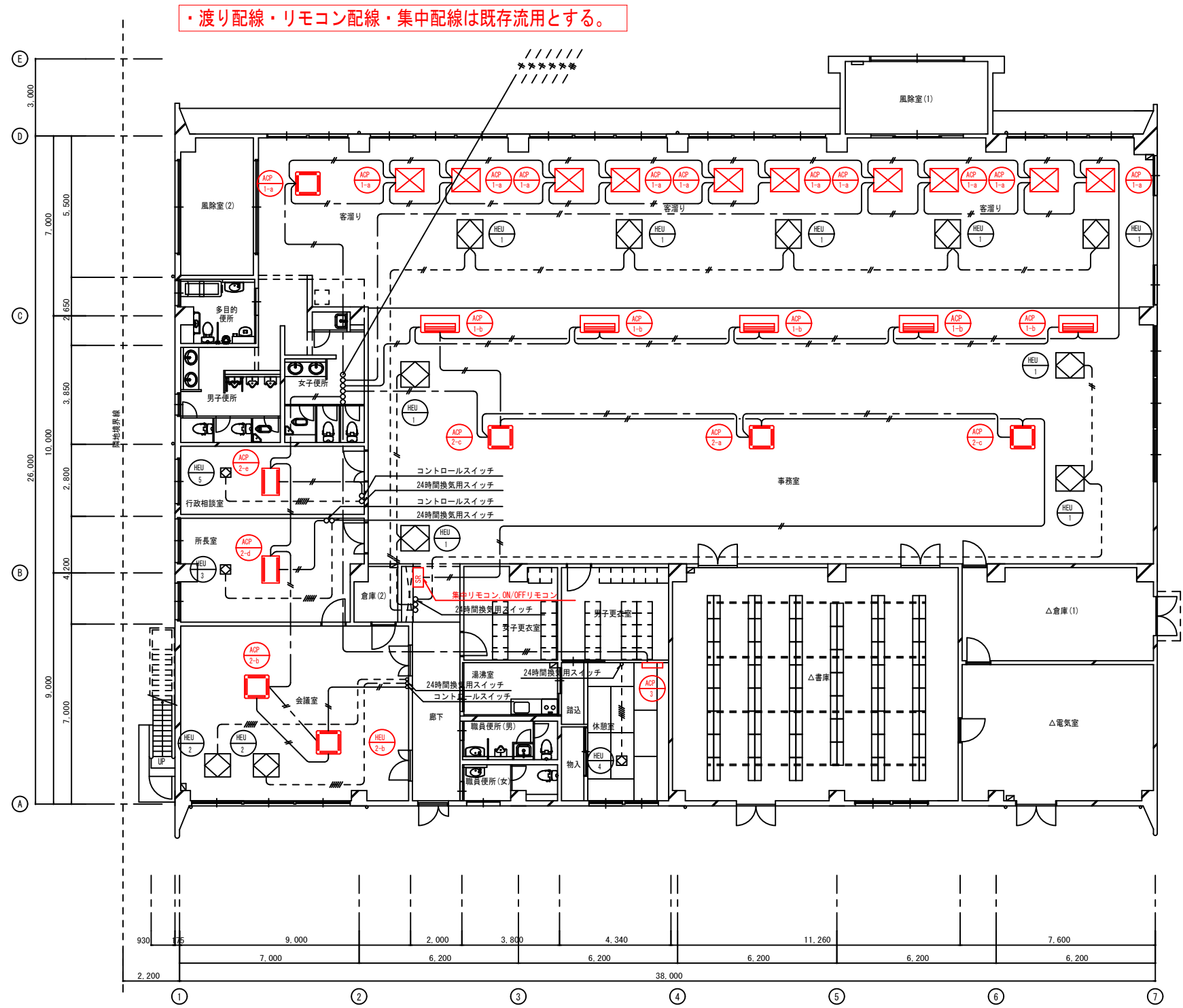
13/14



凡例	
記号	内容
	リモコン配線 (天井コログシ) EM-CCE-1.25口-2C
	内外張り配線 (冷媒管共巻) EM-CCE-1.25口-2C
	内外張り配線 (冷媒管共巻) EM-CCE-1.6口-3C
	リモコン配線 (別途電気設備工事)
	集中リモコン+ON/OFFリモコン
	リモコン

壁立下り配線はPF16にて保護

屋上平面図 S=1/100



1階平面図 S=1/100

8-小牧自動車検査登録事務所 空調更新工事

本工事費内訳書

- ・参考内訳書とする。
- ・追記がある場合は備考欄に追記と明記する。
- ・機器はメーカーは問わないが電気容量を厳守のこと。

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
空気調和設備						
仮設工事	うち材料費 うち労務費	式 式	1 1			
撤去工事	うち材料費 うち労務費	式 式	1 1			
機器設備	うち材料費 うち労務費	式 式	1 1			
配管設備	うち材料費 うち労務費	式 式	1 1			
ダクト設備	うち材料費 うち労務費	式 式	1 1			
配線設備	うち材料費 うち労務費	式 式	1 1			
共通仮設費		式	1			
現場管理費		式	1			
うち建退共制度の掛金		式	1			

本工事費内訳書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
工事原価のうち現場労働者の 法定福利費の事業主負担額		式	1			
工事原価のうち安全衛生経費		式	1			
一般管理費		式	1			
合 計		式	1			
消費税相当額		式	1			
総合計(工事費)		式	1			

空気調和設備

仮設工事

明 細 書
(第1号)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
養生・清掃費		式	1			
楊重費		式	1			
高所作業車		式	1			
産廃処分費		式	1			
合 計		式	1			

空気調和設備

撤去工事

明 細 書
(第2号)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
既設機器撤去費		式	1			
既設ダクト撤去費		式	1			
保温撤去費		式	1			
配管取外し費		式	1			
天井解体・復旧費		式	1			
フロン回収及び破壊処理費		式	1			
合 計		式	1			

空気調和設備

機器設備

明 細 書

(第3号の1)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
エアコン ACP-1A ビル用マルチエアコン 室外機	屋外機 定格冷房能力:56.0kW	台	1			
エアコン ACP-1a ビル用マルチエアコン 室内機	天埋ダクト形 定格冷房能力:7.1kW	台	6			
エアコン ACP-1c ビル用マルチエアコン 室内機	天井カセット4方向形 定格冷房能力:7.1kW	台	1			
エアコン ACP-1B ビル用マルチエアコン 室外機	屋外機 定格冷房能力:33.5kW	台	1			
エアコン ACP-1a ビル用マルチエアコン 室内機	天埋ダクト形 定格冷房能力:7.1kW	台	4			
エアコン ACP-1C ビル用マルチエアコン 室外機	屋外機 定格冷房能力:28.0kW	台	1			
エアコン ACP-1b ビル用マルチエアコン 室内機	天井ビルトイン形 定格冷房能力:4.5kW	台	5			
エアコン ACP-2A ビル用マルチエアコン 室外機	屋外機 定格冷房能力:28.0kW	台	1			
エアコン ACP-2a ビル用マルチエアコン 室内機	天井カセット4方向形 定格冷房能力:11.2kW	台	1			
エアコン ACP-2c ビル用マルチエアコン 室内機	天井カセット4方向形 定格冷房能力:8.0kW	台	2			

空気調和設備

機器設備

明 細 書

(第3号の2)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
エアコン ACP-2B ビル用マルチエアコン 室外機	屋外機 定格冷房能力:28.0kW	台	1			
エアコン ACP-2b ビル用マルチエアコン 室内機	天井カセット4方向形 定格冷房能力:9.0kW	台	2			
エアコン ACP-2d ビル用マルチエアコン 室内機	天井カセット2方向形 定格冷房能力:5.6kW	台	1			
エアコン ACP-2e ビル用マルチエアコン 室内機	天井カセット2方向形 定格冷房能力:2.8kW	台	1			
ワイヤードリモコン		個	22			
エアコン ACP-3 パッケージエアコン(室内機・室外機)	壁掛形 定格冷房能力:5.0kW	台	1			
集中リモコン		個	1			
ON/OFF リモコン		個	1			
室外機 鋼材加工取付費		式	1			
室内機 吊り金物加工取付費		式	1			

空気調和設備

機器設備

明 細 書
(第3号の3)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
試運転調整費		式	1			
合 計		式	1			

空気調和設備

配管設備

明 細 書

(第4号の1)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
冷媒用断熱材被覆鋼管	液管 6.35×0.8mm 保温厚10mm	m	6			
冷媒用断熱材被覆鋼管	液管 9.52×0.8mm 保温厚10mm	m	14			
冷媒用断熱材被覆鋼管	液管 12.70×0.8mm 保温厚10mm	m	6			
冷媒用断熱材被覆鋼管	液管 15.88×0.8mm 保温厚10mm	m	2			
冷媒用断熱材被覆鋼管	ガス管 12.70×0.8mm 保温厚20mm	m	6			
冷媒用断熱材被覆鋼管	ガス管 15.88×1.0mm 保温厚20mm	m	8			
冷媒用断熱材被覆鋼管	ガス管 22.22×1.2mm 保温厚20mm	m	6			
冷媒用断熱材被覆鋼管	ガス管 25.40×1.35mm 保温厚20mm	m	2			
冷媒用断熱材被覆鋼管	ガス管 28.58×1.55mm 保温厚20mm	m	2			
硬質ポリ塩化ビニル管 VP	水道管 (VP) 25×32×3.5	m	23			

空気調和設備

配管設備

明 細 書
(第4号の2)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
保温工事(配管)	グラスウール保温材 天井内 アルミガラスクロス 25A 厚20mm	m	23			
ステンレス板カバー	SUS304 0.3mm	m	12			
真空引き		式	1			
ガス充填費		式	1			
合 計		式	1			

空調設備工

ダクト設備

明 細 書
(第5号)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
ダクト工事費		式	1			
たわみ継手(キャンバス継手)		式	1			
保温工事	グラスウール保温材 天井内 ALGC保温板 25mm	m ²	55			
合 計		式	1			

空調設備工

配線設備

明 細 書
(第6号)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
室内外渡り配線		式	1			
リモコン配線		式	1			
電源配線工事		式	1			
合 計		式	1			